
Truth:Hearts:Unite

風見フウ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Truth:Hearts:Unite

【Nコード】

N3622W

【作者名】

風見フウ

【あらすじ】

命、運命など、全てが操作される世界。縛られた運命からの解放を求めて戦った、小さな戦士達の壮大な物語。

悪夢（前書き）

どうも風見フウですっ。この小説では色んな立場、色んな性格のキヤラが登場します。キヤラ一人一人の個性や考え方に共感して読んでみて下さい。より、この小説が楽しく読めますよっ。

気まぐれで書きますので更新がまちまちになりますが悪しからず…

なお、自分はまだ高校生なので…文章にいたらぬところは多々あると思います。ご指摘などありましたら遠慮なく言って下さると幸いです！

悪夢

これは今日の夢の話。

「…ここ、どこだー？」

気がつくと、何も見えない真っ暗闇の中、自分の意識だけがあつたんだ。

「なるほど。オレは夢をみてるんだな。」

そう考えるしかなかったんだ。こんなワケの分からない状況でキチンと納得いくような理由なんて考えられるわけがない。幽体離脱かとも思ったけど、そういう類のものは大の苦手だからすぐに頭ん中から消した。

オギヤー…

「うおっ、なんだ!？」

オレは目を丸くしてそう叫んだ。実際、オレの体はそこにはないけれど、すごいビククリして目を丸くしたような感覚があつたんだ。そりゃビククリするさ、気がついてわけのわからない場所にいると思ったら、いきなり赤ちゃんの泣き声だぜ？考えられるかよ。

オギヤー、オギヤー、オギヤー！

赤ちゃんの泣き声は何度も何度も繰り返し響いた。何も見えない真っ暗闇の中聞こえる赤ちゃんの泣き声ってホントに怖い。これだけ

は体験してみなきゃわかんないだろうなあ。
そして、オレはあることに気がついたんだ。

「これはヤバイ…」

なんと、その赤ちゃんの泣き声がだんだんオレに近づいてくるじゃないか。オレは今すぐ逃げなきゃと思った。けど、そこには意識しかないから逃げたくてもどうやって逃げればいいのかわからなかったんだ。オレは、オレに夢なら早く目を覚ましてくれと、ただただ祈ることしかできなかった。

オギヤー、オギヤー、オギヤー！

「ひいひいひい〜！」

かなり近づいてきたとき、オレはその得体の知れないものへ恐怖し、すごく情けない声をあげた…

同時にオレは、この先自分がどうなるか色んなことを想像してた。もちろん、頭の中にハッピーエンドで終わるようなシナリオは一つも無い。こういうのは決まって何かしら悲惨なことになるからな…

オギヤー、オギヤー、オギヤツ…オギヤツ…

「ん…？」

どうしたことだろう、赤ちゃんは突然泣きやんだんだ。これは想像してないシナリオだった。

その後しばらくだんまりの沈黙が続いた。しばらくって言っても多分ほんの数秒。でもあのときはその少しの時間がものすごく長く感じたんだ…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3622w/>

Truth:Hearts:Unite

2011年10月9日16時06分発行